

高知県工業技術センターだより

▶ プラスチック代替素材利用促進分科会開催のご報告

9月18日に、工業技術センターにてプラスチック代替素材利用促進分科会の会合を開催しました。この分科会は、生分解性プラスチック・バイオマスプラスチック・セルロース系素材など、環境に優しい素材を使った製品作りを支援するために今年4月に立ち上げ、現在13の県内企業に参加いただいています。

当初5月に行う予定の会合でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため予定通りに開催できず、9月の感染者拡大状況はどうか、企業に集まってもらえるか心配していましたが、無事に開催することができました。

会合では、高分子材料の劣化に関する講座に加え、分科会参加企業同士の交流会を開催しました。短い時間ではありましたが、普段交流する機会がなかった企業同士が知り合うことができたようで、大賑わいの会となりました。

この分科会活動は競輪の補助を受けています。



▶ 「技術者養成講座」のお知らせ

機器分析概論-材料分析のための機器ガイド

品質管理や製品開発においては、材料を知ることが重要で、そのためには材料分析が役立ちます。効率的な材料分析には、分析する目的や材料によって分析機器や分析方法を最適に選択することが欠かせません。この研修では、工業技術センターが日常業務で使用している分析機器や分析方法の事例に基づき、効率的に材料分析を行うための基礎知識が習得できます。

※本セミナーは講座DVDを配布して実施します

<配布時期> 令和2年10月末～

機器分析概論-異物トラブル対処法

十分に管理された製造ラインにおいても、製造者の想定を超えた故障や破損により異物混入等のトラブルが発生する可能性があります。こうした場合、トラブルの原因を究明し再発防止策を講じることが、ユーザーや社会との信頼関係を守るためには必要です。この研修では、正しい異物のサンプリング（採取と保存）と機器分析による原因究明の基礎知識を学び、迅速な解決につなげるトラブル対処法の基本が習得できます。

<日時> 令和2年11月25日(水) 15:00~16:00

分科会活動③不織布産業の最近の課題に関するセミナー

不織布は機能性材料として注目されています。不織布の90%以上は各種の産業で用いられており、生産量は世界的にも右肩上がりです。10年先には代表的な布である織物の生産量を超えると予想されています。

本セミナーでは、不織布産業の現況と各種の不織布製造方法の特徴、不織布産業の最近の課題である海洋プラスチック問題、プラスチックフリー問題、セルロースナノファイバー(CNF)の取り込み、容器・包装リサイクル法や食品衛生法の改正への対応などについて解説します。

<日時> 令和2年11月27日(金) 13:30~15:30

<講師> 信州大学繊維学部不織布共同研究講座 特任教授

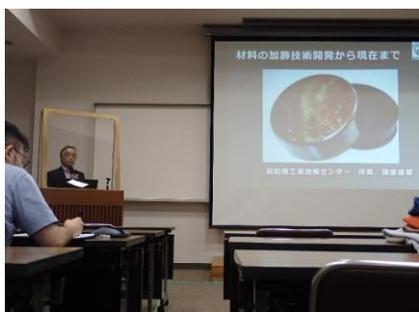
日本不織布協会顧問、日本繊維機械学会フェロー、不織布研究会委員長

矢井田 修

▶研究開発&企業支援成果報告会を開催しました

工業技術センターでは、地域産業の発展に貢献することを目的として、商品開発及び県内企業の技術力向上を目指した取り組みを進めています。そして、その成果は毎年開催している『研究開発&企業支援成果報告会』でご紹介しています。今年も9月1日(火曜日)に昨年度の成果を中心に、広報・普及を目的とした報告会を開催し、45人の方にご参加いただきました。今回は、その概要についてお知らせします。

報告会の様子



特別講演



口頭発表



質疑応答



展示①



展示②



展示③

今年度は篠原所長による特別講演「材料の加飾技術開発から現在まで」と食品開発課、資源環境課、生産技術課の各課から2課題ずつの全7課題についての発表を行いました。また、休憩時間には、開発

に関わった事例等を紹介したポスターや展示品をご覧いただきました。

アンケートでは「工業技術センターの利用方法など分かりやすかった。取り組まれている内容が分かりやすくまとめられていた。」「年々発表の内容が良くなっている。」というご意見をいただきました。総合評価では約88%の方が「満足」又は「やや満足」と回答してくださいました。来年度以降も御来場くださった方に満足していただけるよう努めます。

研究開発&企業支援成果報告会は、来年度もこの時期に開催する予定ですので、ご興味を持たれた方はぜひ足をお運びください。

お気軽にお問い合わせください。

088-846-1111

受付時間 平日 8:30 ~ 17:15

